

産地活性化総合対策事業の薬用作物等地域特産物産地確立支援事業(国産茶需要拡大等支援事業)に関する事業評価票

1. 海外ニーズに応じた茶の生産・加工技術の導入等の取組

(2) 成果目標が新たな商品開発の場合

都道府県名	事業実施主体名	受益者名	到達目標	新たな商品開発の具体的な取組内容	地方農政局長の意見
東京都	日本茶輸出促進協議会	川根めぐり園、松浦永治(東山茶農協)、丸芝製茶協同組合、伊藤藤雅章、福喜農園、畑広大、仲東真吾、西馬場農園、笹原農園、蔵園農園、いろは農園他5名	簡単にどこでも緑茶を飲むことができる濃縮茶(ポーションパック・ピロータイプバッグ)、抹茶の原料である「碾茶」を直接食べることができる「碾茶ふりかけ」を開発する。	試作の結果からその改善点が明らかになり、メーカーの協力得て商品を開発した。	成果目標を達成している。

2. 国内マーケット創出のための高品質・低コスト生産への取組

(2) 成果目標が新たな商品開発の場合

都道府県名	事業実施主体名	受益者名	到達目標	新たな商品開発の具体的な取組内容	地方農政局長の意見
静岡県	茶需要創出推進協議会	鈴木勝彦、鈴木計芳、三浦克暢、河原崎 功	香りの緑茶を用いたティーバッグ商品の開発3種 品種茶を用いたティーバッグ商品開発3種	品種茶を用いたティーバッグ3種及び香りの緑茶を用いたティーバッグ3種のこれら6種について、販売を継続している。	成果目標を達成している。
静岡県	するが有機農場協同組合	するが有機農場協同組合	外食産業等での利用が可能な「食べるお茶」素材の開発・製造200kg 「食べるお茶」素材を活用する外食産業等での、当該素材を活用したメニューの試作4アイテム	「食べるお茶」を220kg製造し、レストラン等の協力により4アイテムの試作を行った。	成果目標を達成している。

3. 茶産地育成に向けた生産体制強化への取組

都道府県名	事業実施主体名	受益者名	現況 ^① (被害発生年度: 年度) <事業導入前>		本年度(令和元年度)		目標(令和元年度) ^②		増減率(%) ②/①		事業内容 [具体的な 取組内容]	地方農政局長の意見
			防霜施設 稼働面積(a)	単収 (kg/10a)	防霜施設 稼働面積(a)	単収 (kg/10a)	防霜施設 稼働面積(a)	単収 (kg/10a)	防霜施設 稼働面積	単収		
神奈川県	チャピュア清川	チャピュア清川	(被害発生年度:28年度)		81.0(a)	312	81.0(a)	280	皆増	227.64	防霜ファンのリース	成果目標を達成している。
			0(a)	123								
静岡県	大井川農業協同組合	瀧口 勝浩、白瀧 潤一、岡村 尚、村田 新吾	(被害発生年度:24・25・27)		780(a)	478	780(a)	470	107.4	110.1	防霜ファンのリース	成果目標を達成している。
			726(a)	427								

注1: 現況は、一番茶について凍霜害による被害が生じた直近の年度を記載すること。なお、被害発生年度が複数年度ある場合には、被害程度がより大きい年度を記載する。

2: 成果目標は一番茶について記載すること。

3: 単収は、荒茶数量又は生葉収量で記載すること。